

HAND in HAND

はんど・いん・はんど

〔21世紀はバラ色かしら〕

■バングラデシュ・グラミン銀行ってご存知ですか。バングラデシュの農村部（全人口の80%）では大半の女性が十分な初等教育を受けないうえに15歳までに結婚するため、成人女性の非識字率は78%にも上ります。当然、女性たちは土地も持たず、最貧層の生活を強いられているので、こうした女性を対象とした融資事業を実施する銀行としてグラミン銀行ができたのです。我が国は今年度初めて、この銀行に円借款を供与することになり、私はODAの政策の中でもすぐれたものだと思っていますが、私たちのまわりで、「再就職できない」「自分で起業しようと思っても資金もない」「母子家庭だとアパートも借りにくい」「いちいち保証人をといわれる」等々、女性であるがゆえの生きにくい社会への抗議や不満を聞いていると、足もとの女性たちへも援助してほしい、日本版グラミン銀行を作ってほしいと強く思わざるをえません。

■識字率も高く、途上国の女性たちに比べれば格段に平和で文化的な生活を享受しているかに見える私たちですが、一般家庭の4割にしかない収入で、子どもたちを育て、世間並みに学歴をつけさせるというのは大変なことです。まわりが豊かなだけに、不況下で再就職もままならず、悪条件のもとで母子のひとり親家庭がどんなに悪戦苦闘しているか。今年こそ、少しは仕事の条件が良い方向に向いてくれるといいですね。そして、担保も保証人もない女性でも融資が受けられるような銀行制度にしてほしい。金利が低く、銀行ばかり潤って、そのうえ不良債券を私たちの税金で援助するなんて、もう少し銀行は私たちの味方になってくれたっていいはず。さあ、21世紀に向けて私たち子どもたちが生きやすい社会にこの国をするために、今年も全力で立ち向かわなくては。みなさんも健康に気をつけて、エネルギーを十分蓄えて頑張りましょうね。

（円より子）

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手を取りあい、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

166

第166号 600円 禁無断転載

【発行日】1996年1月1日

【発行所】現代家族問題研究所

【連絡先】〒164 東京都中野区
東中野4-9-18-5A 星野方

TEL & FAX 03-5512-2738

【発行・編集人】円より子

【スタッフ】向井通江

【印刷】（株）日出島

特集

国の立て替え、給与からの天引き制望む

— 養育費等に関するアンケート調査結果の概要 —

(円より子)

面接交渉は12年で倍増

83年11月に我が現代家族問題研究所で第1回目のアンケート調査《別れた親と子が会うことについて》を実施致しましたが(単行本「離婚の子供レポート」に詳細)、実に12年ぶりに同じようなテーマでアンケートを実施させて頂きました。前回153の回答、今回は157(12月10日現在)と偶然にもほぼ同数ですが、今回は面接交渉の実施率は29%、今回57%と、離婚後の親と子の行き来が倍増していることが分かります。子どもの人権、そして親の愛情、責任という観点から、人々の離婚に対する意識が大きく変わったと言えるのではないのでしょうか。

離婚または別居のことを子どもに伝えているかという問題については、前回は「伝えている」が59%(親と子の行き来のある場合は76%、無い場合51%)に対し、今回は71%(前者79%、後者61%)と

これも増加しています。

面接ある方が養育費は支払われる

さて養育費ですが、取決めの有無は前回は54%(前者62%、後者51%)、今回は72%(前者74%、後者73%)、現実の履行状況は、取決めの有る人のうち一応支払われているのは、前回は78%(前者91%、後者71%)で、今回は65%(前者69%、後者57%)と、前回より履行率が低くなっています。母親側の養育費の取決めの要求は高くなつたものの、父親側に支払い能力や責任感が結局欠如しているということなのでしょう。

取決めの有無に関わらず、今回の結果でみると、51%が支払っていて、行き来のあるケースでは56%が、無いケースでは44%で、行き来のあるほうが、前回、今回とも養育費支払い率は良いことが証明されています。

しかし、この養育費については他の項目とクロス集計を出して検

討分析する余地がありそうです。

とりあえず100名で集計

さて、今回のアンケートでは質問項目が多数あり、それも小さな活字で大変読みづらい時間のかかるものであったにも関わらず、多数の方から回答をよせて頂き、深く感謝しております。

ただ今、スタッフの向井が一人で悪戦苦闘して集計を出しておりませんが、とりあえず、この概要だけでも正月号に間に合わせるため、今回は先着100名の集計と致しました。今後、全回答を集計し、詳しくご報告し、また、民法改正に有効に役立てたいと思っていますが、この100人分でもそれほど大きな違いはなく、大筋はつかめるものと思います。

30代母子のみが6割

今回の回答者の基本的属性についてまずご説明します。

最多年代は30代63%。母と子のみの独立ひとり親家庭が62%、母と子に祖父母や叔父叔母などの同居人のいるひとり親家庭が32%。全員子どもがいる人でしたが、子どもと離れ、一人暮らし3%、親

4. 養育費の履行(1)内取り決め人

履行状況	全体	内取り決め人	面接交渉
約束通り	37名	35名	20名
約束より少額	3名	3名	3名
約束より高額	2名	2名	2名
期日を守らない	5名	5名	4名
支払わない	13名	13名	7名
嫌はいないが支払いがある	4名	2名	3名
決めもなく支払いもない	7名	1名	4名
期限が終わった	0名	0名	0名
その他	13名	9名	6名
不明	16名	2名	8名
総数	100名	72名	57名

1. 面接交渉

有 57名
無 41名
不明 3名

2. 養育費の取決め(1)内取り決め人

有った 72名(42名)
無かった 23名(12名)
その他 4名(2名)
不明 1名(1名)

3. 離婚を子に伝えたか

	面接交渉	面接交渉無
はい	71名	45名
いいえ	26名	10名
不明	3名	2名

(子にとつての祖父母)と暮らしについている人3%でした。

離婚している人が83%、別居中は17%で、最多結婚年数は5〜9年が42%、最多離婚後の年数は1〜4年で44%、子どもの年齢は5〜9歳が34%で、20歳未満が9割を占めています。

母親本人の職業は正社員58%、多年収は2000～2999万18%、1000～1999万14%、4000～4999万12%、ゼロ12%の順です。最終学歴は高卒27%、専門学校・短大卒31%、大卒35%、大学院卒5%で、学歴が高い割に収入の低さが目立ちます。

しかし、養育費の取決め率が高いのは、こうした背景と無関係ではないでしょう。

別居・離婚時の蓄えとして、貯金の有った人は76%、別居中の生活費（婚費分担）の取決めをした人も25%、財産分与・慰謝料の取決めをした人も47%であり、そもそも調停離婚が、既に離婚した83名中39%、裁判離婚が6%という高率で、我が国全体の離婚件数のうち、毎年、調停と裁判合わせて10%ということを見ると、45%はいかに権利意識が高く、さらに知識のある集団だということが分かります。援助してくれる親や友人もいて、余裕もある程度あるということでしょう。

養育費に不満が過半数

しかしながら、養育費が取決められなかった人、取決めてもその

額が少なかった人など、養育費に不満を持っている人は56%いるし、養育費のある人の多くが生活費にそれを回さざるを得ない状況であり（39%）、また、教育費と学資に消える人が49%もいることを考えると、余裕といっても決して経済的に楽ではないのです。

別居・離婚という激変を通して、離婚後、病気やケガをした人は69%に上り、今現在、仕事と収入が悩みと答えている人は53%、住居に苦労している人が32%います。

国の立て替え制希望

さて、こうした中で、養育費については95%の人が何等かの形で制度を確保するべきと考えていて、国が立て替え、父親等から取り立てる制度69%、給与からの天引き制42%、支払い者には税金の優遇措置をする29%、離婚届に養育費の取決め額を書く28%、未成年子がいる時は養育費について家裁等での取決めを立法すべき27%、第3セクターによる養育費基金または保険会社の養育費保険設立10%（複数回答）となっています。以上、また次号で、皆様の生の声をお伝えします。

5 年齢	6 現在の状態	8 養育費に満足か()内は取決め人	10 養育費は不要か()内は取決め人	11 法制度改正
20代 4名	別居中 17名	はい 24名 (23名)	はい 24名 (16名)	必要 70名
30～34歳 24名	離婚 83名	いいえ 56名 (48名)	いいえ 72名 (56名)	必要無 1名
35～39歳 39名	その他 0名	その他 0名 (0名)	その他 0名 (0名)	その他 26名
40～44歳 20名	不明 0名	不明 20名 (1名)	不明 4名 (0名)	不明 3名
45～49歳 6名				
50～54歳 6名	7 離婚形態 (83名中)	9 養育費の用途 (複数回答)	12 改正案	
55～59歳 1名	協議 45名	生活費 39名	離婚届に養育費の取決め額を書く 28名	
60歳～ 0名	調停 32名	教育費 20名	未成年がいる時は養育費について家裁等での取決めを立法すべき 27名	
不明 0名	審判 0名	学資 29名	給与からの天引き制にすべき 42名	
	裁判 5名	不意の出費 7名	国が立て替え、父親等から取り立てる制度 69名	
	不明 1名	その他 7名	支払い者には税金の優遇措置をすべき 29名	
13 養育費の月額 (1人分)		不明 26名	第3セクターによる養育費基金または保険会社の養育費保険 10名	
0 2名	14 婚費分担の取決		その他 1名	
20000 未満 1名	有った 25名		無回答 5名	
20000～29999 15名	無かった 68名			
30000～39999 9名	その他 4名	17 悩み、問題		
40000～49999 8名	不明 3名	子どものこと 53名		
50000～59999 19名		仕事・収入 53名		
60000～69999 2名		住居 32名		
70000～79999 3名	15 財産分与・慰謝料の取決め	家事 7名		
80000～89999 1名	有った 39名	健康 20名		
90000～99999 0名	無かった 42名	恋愛や再婚 17名		
100000以上 4名	その他 1名	その他 14名		
不明 8名	不明 1名	無 5名		
計 72名	計 83名	不明 0名	不明 1名	
		別居・離婚後の病気		
		有った 69名		
		無かった 31名		
		その他 0名		
		不明 0名		

座談会

母子家庭の現状と

養育費について

法制審議会民法部会より93年7月に「民法改正要綱試案」が、また昨年9月に「婚姻制度等の見直し審議に関する中間報告」が出されました。財産分与については原則が認められることになったものの、養育費については不十分です。今年の国会で民法改正法案が提出されますが、このままでは履行制度等何の対策も取られないまま民法が改正されてしまいます。

今日は千葉県の児童相談所で心理判定員として10年間勤務された後、厚生省児童家庭局勤務（児童福祉専門官）を経て、94年4月より淑徳大学社会福祉学科助教授として教鞭をおとりになっている柏女霊峰氏と横浜市の社会福祉事務所で24年間ソーシャルワーカーとして勤務され、最近ジェンダーの視点で社会福祉を見直す研究をされている須藤八千代氏において頂き、教育費の履行確保制度等についてお話を伺いました。

円「見直し審議に関する中間報告」では養育費について1行しか

触れられていません。「離婚後の両親相互間の子の養育費用の分担義務を明示するため、766条1項の子の監護に必要な事項の例示として、『子の監護に要する費用の分担』を掲記するものとする」と、従来に比べ費用分担と明記したものの、これでは強制力はなく、相変わらず養育費は確保されず経済的に困る母子が多いんじゃないかと思っています。何とか養育費の制度化を行いたいということで、お二人にそれぞれの立場でお話頂きたいと思っています。

須藤 15年位前、厚生省から「生活保護を受けている母子家庭が非常に多い。別れた夫から養育費を取るようにもっと努力しなさい。」という講評を受け、「ケースワーカーが何ら法強制力のない中で、それを

▲須藤八千代氏

どうやって取ることができるのか」と反論したことがあります。継続して支払ってもらうような制度が、私達の立場からも重要です。

円 離婚後の経済的安定が、母子の精神的安定に非常に関わっていると思うんですが、四半世紀ケースワーカーをなさって、どのようにお考えになりますか。

須藤 私がずっと関わってきたのは生活保護の相談に来られる貧しい方たちですが、女性は基本的に貧しいんだと思うんです。離婚して実家に帰ってしまうから自立できない、自立しないからこそ、女性の貧しさが明確にならないのが日本社会かなと思うけれど……。

円 離婚講座を始めた頃はこんなにかちんと養育費や面接交渉権に関して取決めるようになって流れは全くなかった。すごく変わってきたなと思うんですが、須藤さんの現場ではどうですか。

須藤 以前関わった約1000の生活保護のケースの80%が母子家庭であったことがあります。離婚という社会のステイグマに加えて、親族からのサポートもなく、厳しい仕事で働いている。彼女たちは普通の女性、普通のお母さんたち。



夫からの養育費があれば生活保護を受けなくてもいい。低賃金という女性の追いやられている社会的地位と、父親からの義務が何も果されないということ。男性が離婚した後、子どもに関して何ら経済的責任を果たさなくても、社会はそれを良しとしているんですよね。円 許していますね。

柏女 先程離婚したら親元に帰ると伺いましたが、このアンケートでも62名が子どもとの家庭なんですよね。以前に厚生省が実施した「子どもと家庭に関する実態調査」によると母子家庭は両親家庭より三世代家庭が少なく、近所付き合いも最低限しかない。離婚をしても実家に戻らず、その上近所付き合いもなく一人で抱え込んで、すごくしんどい思いをしている人が



▲柏女霊峰氏

多いんじゃないかと思うのですが。そういう人達にどういう支援がでるのか、そこに焦点を当てていかなければならないんじゃないかと思うんですね。

円 私たちがやってきたハンドのようなネットワークも必要だし、最も必要なのは経済的援助。厚生省としては養育費についてどう考えているのでしょうか。養育費がきちんと入った方が児童扶養手当の予算も減るということから考えてもいいんじゃないですか。

柏女 厚生省が以前に行った離婚制度等研究会の報告書に、養育費に関する具体的規定の整備、養育費支払い義務の履行の確保についての提言があったと記憶しています。でも現在の検討状況について

は、よくわかりません。

須藤 離婚によって女性が貧困化する。離婚は女性、ジェンダーの視点では重大な問題だけれど、社会福祉の分野では離婚を対象化してこなかった。社会の中に離婚のマイナスの概念、ステイグマが根強く、障害者や高齢者の問題と並列されて考えられてこなかった。養育費の取決めも、子どもに対する責任として親としての役割を応分する、それを社会もバックアップしていくという視点がなく、きちんと制度化されていないのではないのでしょうか。

円 今まで多くの相談を受けてきて感じたのですが、今では離婚の女性の問題は働く女性の問題と全く同じだという認識に立っています。女性が働きながら結婚して、子どもを産み育てていくのが当たり前の社会、また結婚しないで子どもを産み育てるなど、いろいろな生き方が選択できる社会になれば、離婚しても困らない。

日本は家制度の名残で「世帯」というシステムがあり、個人で生きようとするといろいろな障害が出て来る。戸籍は個籍であるべきだし、世帯主の制度もおかしい。世

帯のシステムを、個人のシステムに変えていけば、離婚しても困らない。個人の生活が確立していけば、制度も変えられると思います。

柏女 養育費について国として具体的にどう関わっていくかですが、外国の制度、しくみについて勉強してみるのがありますね。

円 どういう制度にするか、きちんと作って提案していかないといけないと思っています。

柏女 このアンケート調査についてですが、養育費にポイントをおくとしたら、クロス集計をしてみては。例えば養育費の支払いが継続的にあるグループとないグループで集計してみる。ある方が経済的にも精神的にも安定しているのなら、やはり養育費の支払いシステムがある方がいいということになる。

また子どもにとって養育費が支払われているメリットはお金ではなくやはり精神的なメリットでみる。お金を払っている人の方が面接交渉をより多くしているのであるなら、子どもにとって、メリットがあるといえるのでは。

円 12年前のアンケートでは、面接交渉している人の方が養育費を払

っていることが出ています。

柏女 こうした分析を通して養育費支払義務履行のメリットを整理する。母親にとってのメリット、経済的に安定し、精神的に安定するということ。子どもにとってのメリット、父親に捨てられていないということ。そして父親にとってのメリット、父親としての自覚。最後に社会にとってのメリット、これは児童扶養手当の支給額が減る経済的なメリット。この4つについて整理してみる。

円 私は1度なぜ養育費を払わないのか、別れた父親たちに聞いてみたいと思っているんですが、すぐ再婚してしまうとか、離婚した男性のグループがないので調査できないんです。

柏女 それでは、今回養育費を支払っているケースの夫にアンケートを送ってみてはどうですか。

須藤 貴重ですね。

円 それと、須藤さんの担当の、生活保護を受けたいと思っている人々にもこのアンケートを広げたいですね。

今日はお忙しいところありがとうございます。

神戸での出前講座報告

11月19日(日)に行われた「阪神大震災女性支援セミナー」(ウイメンズネット・こうべ主催)で「離婚なんて恐くない」をテーマに、大阪の世話係 さんが出前の離婚講座を開かれ、離婚経験をお話になりました。

会場には70余名の参加者があり、大盛況。私は2部のグループディスカッションでの、ネットワーク作りを担当させて頂きました。

当日集まった方の大半は、離婚を迷っている方で、不安で涙したり、いろいろと1年前の自分を思い出す場面もありました。

今回神戸は、震災で崩壊した街のひずみから、家族の問題も出てきた状態で、報道では家族の心が一つになったということも言われていますが、一方では、夫が一人で逃げ出したとか、不安でいるのに会社に行ってしまった、また震災時に愛人宅にいたという話もあり、震災をきっかけにという方も来ていました。

そして大きな問題として経済的な事があり、不況の神戸で仕事を



探すことの大変さ、住む場所も被災者優先になっていて空きが少なく、母子で食べていけないのかという不安の声がたくさんありました。震災を理由に養育費の支払いをしないということもあり胸の痛みを思い出した。

私の経験から、離婚をする時の情報があまりにも少なすぎることに、パニックになっている時に話を聞いてもらえるだけで自分を取り戻し決心していったので、神戸で集まって話をできる場所が必要だと痛感しました。

神戸のハンド会員の方でおしゃべり会に参加してください。3月にはお泊まり会も考えています。連絡お待ちしています。

(報告/兵庫世話係・)

Q 離婚後1年遅れて児童扶養手当の申請をしました。

しかしながら私の父の平成5年分の所得が基準を越えているとの事由で、認定されない旨の通知が届きました。私は別居後実家に戻り家業の手伝いをし、その収入で子どもに関わる経費等を捻出しています。なぜ認定されないのでしょうか。法第9条・9条の2・10条・11条の規定によると通知書にありますが、何なのかますます分かりません。

A 児童扶養手当法の条文を末尾に示します。いつも法律に接している弁護士が読んでも判りにくい内容です。円さんに頑張ってもらって、国民に理解できる法律にしてほしいものです。

要するに、あなたのように離婚して子どもを育てている母に支給される児童扶養手当については、所得による支給制限があると定めているのが9条です。あなたの配偶者や扶養義務のある方で、生計を同一にする人の前年の所得も斟酌すると定めているのが10条です。

御両親と同居され、御両親の所得が一定の基準を越えたので、その規定により児童扶養手当を支給しな

いと判断されたのです。

同居していても御両親と生計を同一にしていなければよいのですが、子どもに関わる経費を自分の所得で支出しているだけでは生計が別とは言えないと思います。全ての家計を区別してやっているなら再度役所に行ってその旨の説明文書や証書資料(例えば、公共料金も別々に払っている等)を提出して異議の申し立てをして下さい。

児童扶養手当法は母子家庭を母と父の関係で差別している問題のある法律です。皆で勉強して改善を働きかけましょう。

(弁護士・竹川幸子)

弁護士110番

(支給の制限)

第九条 手当は、受給資格者(第四十一条第一項第二号又は第四十二条に該当し、かつ、母がいない児童その他の被扶養者)で、その年度の所得が、以下(二)の各号に規定する所得を超過しない児童(以下「児童」という)に支給される。ただし、児童が前年度の十二月三十一日において生計を維持したものの有無及び数に応じて、政令で定める額以上であるときは、その年の八月から翌年の七月までは、支給しない。

第十條 母に対する手当は、その母の配偶者の前年の所得又はその母の所得(前二九九年法律第八十九号)第八十七条第一項に定める扶養義務者で、その母と生計を同じくするものの前年の所得が、その母の扶養義務者の有無及び数に応じて、政令で定める額以上であるときは、その年の八月から翌年の七月までは、支給しない。

全壊した神戸母子寮へ援助

—母子家庭震災援助金経過報告—

昨年1月17日に起きた阪神淡路大震災は未曾有の大災害となりました。この震災に対して、母子家庭援助金活動、電話相談「災害・心の110番」、災害に関するアンケート調査等、母子家庭等への支援を独自に行い、政府へ母子家庭等への支援を優先的に考慮するよう働きかけてきました。

震災で神戸市兵庫区の母子寮が全壊したというニュースを聞き、早速連絡を取りましたが、当時は連絡が取れる状態ではなく、その後経過を案じていました。

近くの市立母子寮に間借りし、再建に向けて活動しているということが分かり、援助金をカンパすることに決め、10月21日に大阪の離婚講座で円より子が講師を務め訪阪する際に、現地を慰問することになりました。

当日母子寮を訪問すると母子指導員岡本さん初め職員の方々が出迎えて下さり、今までの経過と今後の再建について伺いました。

神戸母子寮は震災によって全壊。

1階の人は外泊者以外全員生き埋めになり、職員1名、母親2名、子ども2名の5名の方が亡くなりました。当日午後、近くの市立母子寮ひよどり荘へ身を寄せましたが、火災が近付いて来たので近くの小学校へ避難し、翌朝鎮火後再びひよどり荘へ移られました。

震災前、本措置15世帯、短期保護2世帯で母親17人、子ども24人の方がいらっしゃいましたが、短期保護2世帯の方は夫の元へ帰り、県内外の仮設住宅へ移った世帯や新しく入所した世帯もあり、今は14世帯。

震災後は家賃もタダで、電話も付いている仮設住宅へ入ってしまいが、震災前は1部屋4万円位だったアパートが、今10万円位するので、今後仮設住宅がなくなってくると、母子寮を必要とする世帯が増えるだろうと岡本さんはおっしゃっています。

震災後母親達は初め、いつまた地震が起こるか分からない恐怖で、全員2週間位1階で壁にもたれて

仮眠していたそうです。今住んでいる4、5階の畳の部屋へ全員が上がってくるのに1、2か月かかったと。

また母子のケアとして母子に対して「掘り起こし」をしてきたそうです。何でもいから文章を書いてもらおうと、子どもは「忘れた。どうだったかなあ」と、話をそらしたり、思い出したいくないという状態で、まとまりのない文章だったのが、6か月位でやっと落ち着いてきたそうで、これから明るくやっていくところ。

再建については、跡地が狭く、現在の基準に合わないため、また土地を買う程の金銭的余裕もないため、市の所有地を借用できるように市に依頼。その内諾が10月1日付で降り、それを機に地域の方々と話し合いを持つ等、再建の第一歩を踏み出しました。

再建の予定地も、周りはほとんどの家が全半壊してしまい、難を逃れた家がまばらに立っている状態で、被害の凄さを感じさせられるとのこと。

地域も母子寮も被害者同志、末永く生活していくことを考え、お互いに理解し合えるまで話し合い、お

互いに納得のいく再建をしていきたいと、岡本さんはお話になりました。

離婚講座の時間も迫り、援助金をお渡しし、今後の協力をお約束しつつ大阪へと向かいました。

震災から早や1年経ちましたが、まだまだ被災生活を続けていらっしゃる方も多く、今後とも支援活動を行っていくことの重要性を痛感しました。

※「母子家庭震災援助金」は、お陰様で12月20日現在108万1553円になっています。

ご協力ありがとうございました。

◀母子指導員の岡本さんと



カジュアルパーティーへのお誘い (有志の懇親会)

11月12日のパーティーも予定人数をオーバーした程の盛況でした。その後のデートもあり…と噂が耳に入ります。皆さん和気あいあいの雰囲気、半数の方々が2次会へ繰り出した程でした。

出席した男性の方が「この会費でこの料理は良心的だね!」とおっしゃっていました。もちろんパーティーのスタッフはボランティアですし、出席スタッフも会費を払って参加していますので、内容は充実。その上ゲーム進行役の司会者も、謝礼なしでお願いしているという、いかにもハンドのメンバーが運営しているというパーティーです。また、男性側の出席者も、身元のしっかりした方ということで、スタッフが安心して募集していますので、どうぞ安心してお申込み下さい。

この点をよくご理解頂いて、無断欠席のないようお願いします。今年には野外パーティーやハイキング等いろいろ考えていきますので、ご期待ください。

(パーティースタッフ一同)

★カジュアル・パーティーのお知らせ

2月25日(日)午後1時~3時半、池袋のシティホテルで懇親会を開きます。定員男女各20名。参加費5000円。(料理、飲物、ゲーム商品代、通信費込)参加希望者は1月27日必着で、〒165中野区若宮3-40-15「びんズ」内ハンド2月25日パーティー係まで往復葉書でお申込み下さい。住所、氏名、年齢、電話番号、子どもの有無と年齢構成を必ず明記してください(今後ペーシッターのことも考えますので)。お問合せはハガキで申込先へお願いします。



ハンド・イン・ハンドは、みなさんがつくる雑誌です。みなさんの日常考えていることや、生活の匂いが伝わってくるような、そんなハンド・イン・ハンドでありたいと思います。お便りをどんどんお寄せください。

■岡山の世話係の方へ

M・O (岡山・35歳)

今はまだ悩み続けている状況です。子どもを2人抱えて、犬を飼っているという状態での家探しに苦勞しています。仕事もしていますが、地位がないのでどうにもなりそうにありません。

岡山の世話係の方に連絡が取れません。連絡先をお知らせいただきたいのですが…。岡山に帰って10か月程なのでこちらの状況を知りたいのです。どうぞ宜しくお願いします。

※岡山の世話係の さん、至急事務所向井までご連絡下さい。

■ハンドに入会しました

C・S (神奈川・?歳)

164号より入会しました。ハンドの存在は自分が離婚するとは想像もしていなかった頃から知っていました。いざ離婚講座に参加してみようと思った時には都合がつかず、既に離婚をしてから2年2か月が経過しました。

1歳だった息子も3歳になりました。

した。今年の6月テレビでさかんに父の日特集を組んでいた時に、「どうして僕にはパパがいらないの?」と初めて口にするようになりました。「ママはいるよ。それじゃ、だめかな?」と聞くと、いつもなら第一反抗期の真っ盛りで、ダメとイヤを繰り返しているくせに、このときだけはすぐさま「いいよ」と答えるので、少しいじらしくなっていました。

なるべく子どもには本当のことを話していきたくて考えています。追々、両親の間で起きたことについて説明していくつもりですが、私自身、迷ったり考え込む場面に遭遇してしまいうので、ハンドの入会を決めました。様々なハンドの皆さんや親の離婚を体験した子ども達の本音をたくさん聞きながら、私たち親子も成長していきたいと考えています。

最後に朝日新聞の家庭欄に「5年別居離婚めぐりシンボ」の記事が出ていました。ショックだったのは、衆参両院の女性議員34人に

前もってアンケートしたのに、回答を寄せたのはわずか11人だったこと。しかも賛否を明らかにしない議員が、半数以上の6人もいたことです。数少ない女性議員の方です。この状態ならば、男性議員の方はもっと関心が薄いということでしょうか。このような中で法が決まってしまうことに危惧を感じてなりません。

ちなみに私は法改正には賛成です。1年の別居でもどっちつかずの形は苦痛でしたので、5年はむしろ長すぎる気がするほどです。但し、それには養育費の問題や離婚した女性が自立できるための具体的な提案が欲しいと思います。■とにかく本気で探さなくちゃ

N・M (大分・?歳)
10月に離婚が成立。1月から主人の居所が分からなくなり(会社には行っていたけど)、給料も入らなくなり、考えるに考えて調停にかけることにしました。

主人は時々ふらっと戻ってきては「離婚する」「おまえの性格が気に入らない」と一方的に離婚を突き付け、話し合いで現状を変えるという余地すらありませんでした。結局「おまえが気に入らないから

友人のところを泊まり歩いている」というのも嘘で、女性のもとで暮らしていたのでした。

そしてびっくりするような借金も！

恋愛で結婚して3年余りの生活。絵にかいたような新婚生活を送っていたのに。結末は：。

結局弁護士さんも立てて、なんとか慰謝料と養育費の約束を取り付けました。でも、本当に欲しかったのはお金じゃないのに！どうして家族をこんな風にボイと捨てられるの？ローンのようにお金払えばいいってもんじゃない！でも、もう済んだこと。気分は軽くなったのですが、一番の不安は「仕事」です。3年間専業主婦で、別居中の生活費を稼ぐために始めた生保のセールスはちょっと厳しい世界。何をしてでも、何があっても食べていく！という気はあるのですが、これといってやってきたこと、できることもないので職探しが不安です。

子どももいるので早めに帰れて、ある程度の収入……。とにかく本気で探さなくちゃ！
■迷っています。

M・M (千葉・39歳)

親権者は私であるのにもかかわらず、相手方が子どもを渡してくれそうになくて困っています。時間が経てば、ますます子どもは今の環境に馴染んでしまい、こちらへ来ることを迷ってしまうと思います。無理やり連れてくるのが後で子どもの心理にどんな影響があるのでしょうか？

また子どもと直接電話で話をしようとしても、妨害されてしまうことが多く困っています。

そして、最近「会いたい」という電話が、相手からありました。自分から別れる申し立てをしたのに、なぜ今になって(再婚しています)言うのでしょうか？迷っています。

■頑張って職探しします

Y・H (千葉・36歳)
毎回お便りを楽しみにしています。お便りの中の皆さんの気持ちは、私の気持ちでもあるので勇気づけられると思います。私も子どもと3人で暮らすようになって早や1年半になり、だいぶ慣れてきました。

しかし、今失業中の身の上……。働いていないと何か不安です。もちろん経済状態ですが、日中ブラ

■出版物紹介■

93年夏にニコニコ離婚講座が150回を、ハンド会報誌が150号を迎えたのを記念し、次の3つの小冊子を発行しました。
①離婚講座、ハンド、離婚110番の足跡と活動内容をまとめた『女性と離婚・15年の記録』。

②ハンド会報誌の「家計簿公開」欄の第1回〜88回までを就業形態別にまとめて掲載した『離婚女性の生活と経済』。

③80〜93年に雑誌、新聞等に掲載の、円より子の主な著作やコメント、著書リスト等をまとめた『揺れる家族と離婚の現状』。

以上、現代家族問題研究所「ハンド・イン・ハンド」編集部発行。価格は各500円(実費)ですが、今回特別に先着50名の方に送料のみでお分けします。希望の方は〒100千代田区永田町2-11-1738円より子事務所・向井まで送料500円分切手を同封の上、お申込下さい。地域の図書館へも取り寄せ希望を出して下さいと幸いです。活動を広げていきましょう。

ブラしていると、「サボっている」ような感じ。何社か受けてはいるのですが、残業のことやキャリアのなきで不採用ばかり…。

結婚して当然のこととして会社を辞めてしまうと離婚した時が大変ですね。その点男は楽かな…。不況、就職難というのを今ひしひしと受け止めています。

ブータローでいいのは、時間があるので図書館に行ったり、子どもと遊んだりを「普通の日」にできるのが嬉しいですね。

さあ今から頑張って職探ししますね。

■勉強させて頂きたいと思います

Y・M (埼玉・48歳)

現在、パートナーとの関係はおむね良好です。ですが、企業戦士と専業主婦ではバランスが取れず、周期的に不良になります。

その都度何とかお互いに歩み寄ってと繰り返しはいますが…。お互いの立場の違いを認めあった上でも、尚かつやはり、価値観、人生観が大幅にずれてしまってきていることを認めざるを得ません。

パートナーの停年までの時間、何とかバランスを取りながら現在はやっていくつもりではありますが、や

はり何かのキッカケでガラガラと崩れてしまう予感もあります。

私はどうすべきか、どう生きべきか、常に迷っています。円より子さんの著書は、そのヒントが沢山あります。いろいろ勉強させていただきたいと思っています。

■皆さんはどうしていますか

K・Y (大阪・41歳)

母子家庭であることを、どの範囲の付き合いの方にまで言えばいいのか迷っています。

暑中見舞で転居通知も兼ねて、「別居」という言葉こそ使用していませんが、それとわかる文面で通知したところ、夫婦共通の友人であった男性が、突然今まで以上に接近をはかってきたりして、内心驚いています。

子どもに隠しておくことも良いとは思えないので、正直に話してあります。必ずしも誰にでも公明正大に、母子家庭であることを知らす必要はないのですが、悪いことをしているわけでもないのに、言葉が濁ってしまうことが嫌です。胸をはって堂々と言えないことが悲しい。

皆さんはどのように考えていらっしゃるのでしょうか。

■面接交渉権について

M・H (兵庫・37歳)

元夫が、月2回位子どもと会いたがります。子どもがそれを希望するのなら構わないのですが、子どもは元夫と2人で出かけるのを嫌がります。

月2回もだと落ち着かず、月1回にしてもらっていますが、子どもが私と離れる時、寂しそうな顔をします。そこまでは父親と会わせる必要があるのかなと思います。それに父親と会って帰って来た後、私の両親に対して「死んだらいい」等と言ったので、びっくりしています。父親と無理して会わずことに矛盾を感じます。

■どう解決されたか教えて下さい

H・K (大阪・29歳)

私と同じような家庭内離婚中の方、どのように解決されたか教えて下さい。

私の場合できたばかりを戻したいのですが、反面このようなことが続く子どものためにも良くないので、私の方から離婚せざるを得なくなります。その時100%養育費をもらえなくなりそうで、いい方法があれば教えて下さい。

それと家庭内離婚中、SEXは

■春合宿のお知らせ

今年の春合宿は、ご要望にお応えして和泉育子さんに再びおいでいただき、エゴグラムの講座を開きます。31日の講座のみ(宿泊なし)参加でも可能です。前回参加できなかった方奮ってお申し込みください。

▼日時 3月30、31日(土日)の1泊2日▼場所 国立婦人教育会館(埼玉県武蔵嵐山)▼宿泊定員 大人40名、子ども幼児10名▼費用 大人5000円、宿泊なしの大人、子ども3500円(食費、交通費は別途負担)▼集合 31日午後1時 会館1Fロビー▼解散 31日午後5時 現地解散▼申込 往復ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、宿泊の有無、子どもの氏名、性別、生年月日、年齢を明記(保険加入のため必要)の上、事務局向井までお送り下さい。先着順で宿泊は締め切ります。詳細は、申込の方に後日連絡します。

〒100千代田区永田町2-1-11-738円より子事務所内現代家族問題研究所 向井宛て

☎03-55512-2738

ないのでしょか。どのように鬱憤を晴らしていらっしやるのでしょか？ 私は1年位、SEXがありません。女の部分で言えば離婚したいと思っています。情け無い話ですが…。

お便り・お電話下さい。

■心遣いありがとうございます

(兵庫・?歳)

今回の大震災では、皆様からいろいろとお心遣いを頂き大変感謝しております。

私の実家も「全壊」ということで、住まいは別に借り、傾いていた家の半分を地震直後に壊し、あと半分は倉庫代りとしていましたが、いよいよ全部取り壊すことが決まりました。

私は現在ワンルームで生活しているのですが、実家に置いていた荷物を整理しているのですが、その中で私が5年前に別居し、その後1年半後に離婚に至るまで悩んでいた時に購入した本がでてきました。マーカーで線を引いているところもありますが、もしあの当時の私のように現在悩んでいらっしやる方がいらっしやるなら、プレゼントさせて頂きたいと思います。「時

間こそ最大の薬」ということを身を持って感じています。是非強い心で頑張ってください。

本は「離婚と慰謝料」、「家庭心理学入門」、「離婚ケース22からの考察」、「離婚後の妻たち」他、円より子さんの「ターニング・ポイント」や沖藤典子さんの「妻がひそかに決意する」もあります。ご連絡お待ちしております。

■お便りお待ちしております

(高知・30歳)

今年の2月に別居後、4月から調停をはじめ9月にやっと離婚が成立しました。別居中も約束をきちんと守らないため、まだまだ気の抜けない日が続きます。

1歳5か月の娘と実家で暮らしています。周りに同じようなシングル家庭の友人がなくて寂しい毎日を送っています。

同年代で同じ位のお子さんがいらっしゃる方や、お近くの方お便りお待ちしております。

■子どものいない方連絡下さい

(東京・?歳)

1年前の会報で子どもさんのないシングル仲間のサークルを作りましたと呼び掛けました。

現在9名程で定期的に集まってはおしゃべりをして、日頃のストレスを少し解消しています。

東京近郊の方、よろしかったら参加しませんか？ ハガキに住所、氏名、電話番号を記入の上、ご連絡下さい。現況を少し書いて下さると嬉しいですよ。

世話係から

■ハンド愛知の新年会のお知らせ

(愛知・?歳)

1月7日(日)午後2時、新年会を開きます。場所は名古屋市内の「カフェ・ローモンド」で。1品ずつ持ち寄って集まりませんか。ご連絡お待ちしております。

●原稿募集中！

会報に載せたい手紙、案内は偶数月の5日までに事務局向井までお送り下さい。「家計簿公開」の原稿も大募集！ よろしく願います。お待ちしております。

■事務局便り■

★夏休み子どもを連れて会うようになって8年。夏休みの他に、年々先夫と二人で会う回数が増えています。

昨年彼が福祉の仕事に就き、同業となりました。今年は決断の年でしょうか。

★昨年はあまりにも大きな事件、事故が続き、私の身近にも何件かあった。今年は良い年に…なんてことは望まない。

「チュー(景)」位の年であれば、それで充分だ！ (小木)

★前号でお願いした養育費アンケートは、初め項目数が多く細かい字なので、返ってくるか心配していましたが、150名以上の方から回答を頂きました。

今も少しずつ送られてきていて集計に頭を抱えています。うれしい悲鳴というところ。(向井)

★「疲れた」としか言わず、私の前ではいつもブスツとしているけど、あなたにとって大事なものは何？と中1の娘、グサッ。人間関係がギスギスするほど仕事してストレスためて、私は何やってるかしら。今年は休も。(田)



第176・177回 ニコニコ離婚講座

〔1月〕1月6日(土)午後1時～4時半。飯田橋セントラルプラザ6階(JR飯田橋駅下車隣)で。1部は吉川武彦氏(精神科医)によるお話、2部は金住典子弁護士による「離婚の法律と手続き」。

〔2月〕2月3日(土)。1月と同じ時間、同じ場所。1部は講師未定。2部は金住典子弁護士。いずれも参加費2000円。申込は留守電か事務所までご連絡を。

☎03(5512)2738(事)
☎03(3261)1835(留)

★東京の会合

▼1月27日(土)午後5時～8時、東京ウイメンズプラザ第3会議室。

▼2月24日(土)午後5時～8時、1月と同じ場所で開催します。

大阪のニコニコ離婚講座

〔1月〕1月20日(土)午後1時15

《お世話係》

★仙台
★福島
★北陸
★埼玉
★群馬
★愛知
★滋賀
★大阪
★大阪
★神戸
★岡山
★広島
★広島
★香川
★四国
★福岡
★福岡
★長崎
★熊本
★大分
★宮崎

3月16日(土)～17日(日)に合

ハンド大阪・滋賀・愛知の
合同春合宿のお知らせ

竹川法律事務所

☎06-393-1331

★大阪の例会

1月27日(土)午後1時30分～4時半。竹川法律事務所。

いづれも参加費1500円。

分～4時半、ドーンセンター(大阪府立女性総合センター)で。講師は竹川幸子弁護士。

〔2月〕2月17日(土)午後1時15分～4時半、ドーンセンターで。講師は川喜多好恵氏(カウンセラー)による「女らしさの病」。

いづれも参加費1500円。

同春合宿を行います。場所は月ヶ瀬方面を予定。申込みは大阪の世話係。まで電話またはFAXで、愛知の世話係。まで電話で。先着順。詳細は後日申込者に直接お知らせします。

★埼玉の会合

▼1月28日(日)11時～新年歌会を開きます。場所は東武東上線朝霞台駅(JR北朝霞駅)近辺。会費1500円位。カラオケで楽しみましょう!

▼3月3日(日) 宅でハンド167号発送。都合のつく方お手伝いお願いします。いづれも詳細は。まで。

☆離婚一〇番

今年から、電話相談の日程が変わります。日時、番号はよく確認。(電話番号)

☎03(3261)1835

☎03(3261)1836

〔日時〕

▼第1、第3、第5土曜日の午後5時～8時▼第2、第4土曜日の午後2時～5時

★購読料について

現在つぎの3通りの方法をとらせていただいています。

①1年間3600円(送料共)

②2年間まとめて前払いしてくださる方には、2年分、7200

円のところを6000円に。

③出世払いもしくは免除

どうしても苦しい方は、いつでも遠慮なく申し出てください。それ

ぞれ出費が多く大変でしょうが、期限切れの通知の入った時に、お

振りこみ下さい。

(振込先)各地の郵便局にて

00140161120542

ハンド・イン・ハンドの会